

今こそ
実現を

選択的 夫婦別姓

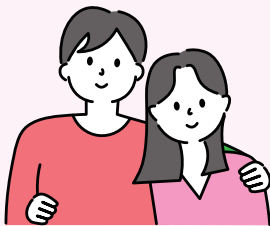


2025.03.19 号外

立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民主編集部

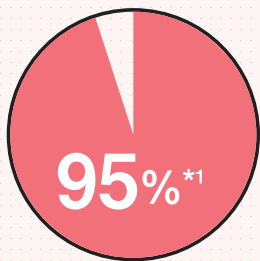
〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax 03-3595-9088



VISION ジェンダーによらず自由に選択できる未来を

FACT. いつまでも解消されないジェンダーギャップ

婚姻届を提出した
夫婦のうち
改姓した
女性の割合



ジェンダー・ギャップ指数
日本は146カ国中
118位^{*2}

*1 データは厚生労働省「人口動態統計」より。 *2 世界経済フォーラム「グローバルジェンダーギャップ報告書(2024)」より

結婚する際に改姓しなければならないことによって、
多くの女性が数多くの負担を感じています。

今こそ
実現すべき
理由①

社会であがる声を 反映させる

Point

世論調査では、
導入賛成が
63%^{*}を
占めます。



Point

経済団体や
労働団体も
導入を提言
しています。



* 朝日新聞社 全国世論調査(電話、2025年2月15~16日に実施)を基に作成

今こそ
実現すべき
理由②

誰もが 自分らしく活躍

Point

結婚前の姓で築いてきた
実績や評価を結婚後も
維持することで、さらなる
活躍につながります。



今こそ
実現すべき
理由③

家族の多様な 選択肢をつくる

Point

夫婦や家族の形も多様に。
同姓、別姓いずれにも
なれる選択肢が必要です。



今こそ
実現すべき
理由④

国際社会の 当たり前を日本でも

Point

結婚の際に夫婦
どちらかが
姓を変えなければ
ならない国は
日本だけです。

